2025/11/04 02:35 1/2 設立の背景と目的

設立の背景と目的

日本古典籍研究国際コンソーシアム (Global Consortium for Japanese Textual Studies)は、このようにして生まれました。

設立の背景

- 単独の機関が資金 人材 技術等の研究資源を獲得 開発することは、年々困難の度を増してきています。
- 複数の機関が限られた資源を共有し、相互の長所 短所を補完できる場が必要です。
- そこで、大規模学術フロンティア促進事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」 を通して、国内外50以上の機関をむすぶ研究ネットワークを構築してきた国文学研究資料館が幹事機関と なり、国内外の機関が共同で、2020年11月、日本古典籍研究に特化した国際コンソーシアムを設立する こととなりました。

日本古典籍研究とは

- 研究対象: 19世紀(明治20年代)までの日本で作られたあらゆる書物(これを「日本古典籍」と呼びます)が研究対象です。狭義の「文学」に限らず、歴史、思想、美術、医学、兵学、天文学、和算、農業など、ありとあらゆる内容やジャンルが含まれます。
- 研究方法:原資料の形態や伝来を調査し、歴史的文脈に即して内容を読み解く、実証的な研究手法を用います。これまでは、あたかも職人芸のように、師弟関係の中で受け継がれてきた側面が強いですが、このコンソーシアム設立を機に、オープンにしていきたいと考えています。
- 目的:19世紀までの日本を対象に、文字 絵による記録の生成 伝播 保存について調査し、様々に異なる社会 自然環境の中を生きた人々の知識 行動 思考 感性を実証的に考究することで、過去から引き継がれた資料 文化 社会について理解を深めることを目指します。
- 課題:文理を問わず、多分野からのアプローチ、及び多分野へ向けられたアウトプットが、これからの日本 古典籍研究、また人文学研究の発展には不可欠となるでしょう。「日本文学」に限らず、様々な分野から のご参加をお待ちしています。

設立の目的

日本古典籍を対象とした研究と教育の深化 発展のために、国内外の機関が力を合わせて、情報や研究資源を 共有できる場をともに構築していくことを目的とします。特に、以下3点について、国内外の研究者 専門職員 学生が協働できる場を作り上げていきたいと考えています。

- 人材(学生、研究者、司書 学芸員 アーキビスト等の専門職員)の育成
- 先端的研究と研究成果発信等に関する情報 資源の共有と活用
- ・データベースの活用等に関する情報 意見の交換

期待される効果

順不同ですが、日本古典籍研究に関連する以下のような効果が期待されます。

- 専門的な知識 技能 研究手法の修得機会へのアクセス改善
- 教材 (動画も含む)の共有や共同開発
- 授業の共同開設による単位認定や共同指導の可能性の模索
- 複数機関による研究費の拠出
- 国 地域や分野をまたがる共同研究の促進、学会パネルの組成、イベントの共同企画
- 学会 学術誌の活性化
- デジタルデータやデータベースの活用に関する意見交換や技術の共有
- 国 地域を超えた実績評価指標の検討
- 研究成果の社会への還元

From:

https://kotenseki.org/ - 日本古典籍研究国際コンソーシアム

Permanent link:

https://kotenseki.org/about/purpose

Last update: 2020/07/09 18:13